



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和6年5月

家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く

教頭 清水 貞之

4月の終わりに「学校運営協議会」を行いました。学校運営協議会は、学校と保護者、地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む仕組みです。互いに信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童の健全育成に取り組むことを目的としています。

さて、富山県PTA連合会が掲げる「子どもは、家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」という言葉があります。確かな学力、豊かな心、健やかな体を持ち、将来の夢や希望を胸に生き生きと成長する子供たちを育むためには、学校と地域や家庭が連携・協働する教育活動が不可欠です。地域の様々な方が教育活動に関わることで、子供の学ぶ意欲の向上や落ち着いた学習環境づくりにつながります。また同時に地域にとっても、学校を核に新たな絆が生まれ、地域の教育力の向上と地域の活性化が図られます。文部科学省のパンフレット等では、学校と地域や家庭が連携・協働することで、次のような効果を得られると示しています。

【子供にとって】

- ・多様な人との関わりの中で、社会性やコミュニケーション力が育まれる。
- ・地域の人から認められることで、自己肯定感や学習意欲が高まり、学力向上の基盤が形成される。
- ・地域の人と共に学ぶことで、地域への愛着が芽生え、地域の担い手としての自覚が芽生える。

【学校にとって】

- ・地域の人々の専門的な知識・技能や地域の文化財等を教育活動に生かすことができる。
- ・地域の人と関わることで、地域と学校双方の理解が深まる。
- ・多様な視点での取組が可能となり、新たな発想や視点で教育活動を計画し展開することができる。

【地域・保護者にとって】

- ・自分の経験や知識を生かすことで、自己実現につながる。
- ・子供との関わりを通して、地域住民同士のつながりが生まれる。
- ・社会参加、社会参画の場となり、地域の活性化につながる。

立山中央小学校では、これまでも多くの地域の方々に支えられながら、教育活動を進めてきました。日頃、地域の方々には、下校時に見守っていただいたり、活動時に励ましの声をいただいたりしています。子供たちの安全を見守ってくださっている見守り隊の皆様、様々な場面で教育活動を支えてくださっている愛育会の皆様のご厚意に感謝申し上げます。

これからも、子供たちの健やかな成長を支えるためご協力のほど、よろしくお願いいたします。

子供たちの学習活動の様子を学校ホームページに掲載しています。

【ホームページアドレス <https://tateyama-chuo-e.edumap.jp/>】



【ホームページ QR コード】